

会 議 録

(1)会議概要

会 議 名	令和元年度 第6回泉大津市参画と協働のまちづくり推進会議		
開 催 日 時	令和2年2月28日（金）19時～21時		
開 催 場 所	泉大津市役所3階301会議室		
出 席 者	委 員	久委員、大久保委員、高寺委員、湯川委員、忠岡委員、小橋委員、川上委員	
	そ の 他		
	事 務 局	吉田総合政策部長、池側市民協働推進課長、野村市民協働推進課参事、山本市民協働推進課総括主査、中島市民協働推進課係員	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
会 議 次 第	1 開会 2 令和元年度事業報告について 3 令和2年度の取り組みについて 4 その他 5 閉会		

(2)議事内容

○以下、事務局による進行

1. 開会

- 吉田総合政策部長あいさつ
- 委員紹介、事務局紹介
- 会長あいさつ
- 資料確認

○以下、会長による進行

2. 案件

①事務局より「令和元年度事業報告について」を説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等

■ 泉大津市市民活動支援センター（以下おづぷらざ）について

まちづくり井戸端会議と地域交流会の区別を明確に行う必要がある。まちづくり井戸端会議はテーマを定めず書記等も設置しない、地域交流会はテーマを定めて行うと良いのではないか。

おづぷらざフェスタでの物販ブースが新しく考案されているとのことだが、金銭を稼ぐ手段というだけでなく、市民公益活動団体が実施するおづぷらざフェスタで行うことの意義や独自性を考えながら実施していただきたい。

■ モデル地区でのまちづくり協議会設立について

市内初のまちづくり協議会が設立されたとのこと、今後に期待している。旭校区まちづくり協議会には、同協議会と既存の自治会や各種関係団体と何が異なるのか、同協議会の意義とは何なのか明確に見つめながら今後の事業を展開してほしい。他の校区でも機運が高まるようおづぷらざでも積極的にアプローチしていき、設立したいという芽があれば積極的に支援して行ってほしい。

■ クラウドファンディング型ふるさと納税によるNPO等を指定した支援について

一般のクラウドファンディングを行った経験が無い団体が、ガバメントクラウドファンディングを行うのは事務の性質上ハードルが高いだろう。しかし、一般のクラウドファンディングと異なるメリットがあり、魅力を感じる部分は多いはずである。ターゲットを絞ってアプローチしていくと良いのではないか。

②事務局より「令和2年度の取り組みについて」を説明（記録省略）

その後、委員による質疑応答

委員からの主な意見・指摘事項等

■ 事業全般について

がんばる市民公益活動応援補助金をはじめ、様々な支援メニューを展開されている。しかし、実際にメニューを使う側の団体が少なければもったいないことである。市民公益活動団体をより大きく、組織としてしっかりとしたものにしていくためには、おづぷらぎの支援は欠かせない。市民公益活動に対する考え方が世代によって異なっており、これまでは公益やボランティアな面を重視する世代が中心となっていたが、一方で事業を継続するためには一定の収益が必要であるとの発想のもとに公益活動を行う世代も出現している。おづぷらぎでも、多種多様な公益活動団体への支援について、工夫してほしい。

■ まちづくり協議会と行政について

今後まちづくり協議会が数多く設立される可能性がある中で、まちづくり協議会をどのように位置付けるのか行政としてもよく考えていただきたい。他市町村の事例ではあるが、まちづくり協議会をまちづくりを担う専門的なパートナーと位置付けているところもある。

泉大津市においてはどのように位置付けるのか見守っていきたい。

③「その他」

委員、事務局ともに議題無し

○以下、事務局による進行

3. 閉会（記録省略）